

03 興味・関心を持つ

取組事例

04

宮川ラブリバー公園を探索しよう

伊勢市立豊浜東小学校 1～2年生



森の中の音に耳を傾けている様子

実施時期	令和5年11月
実施場所	宮川ラブリバー公園
時間	2時限（45分×2）
対象・人数	小学1～2年生 15人
講師	森のせんせい1名（宮本英明氏）
備考	市事業「豊かな心を育む体験交流活動推進事業」ふれる・つくる・かんじる自然体験プログラム

めざす姿	03興味・関心を持つ （ 01 遊び・楽しむ、 02 親しむ、 04 違いに気づく）
ねらい	自然の中の動植物とふれあい、自然体験を楽しむ
内容	・森の中の音を聞く ・どんぐりをひろい、色や形の違いを観察する ・カエデの種がくるくると回りながら落ちていく様子を楽しむ ・木の実から小さな芽を出した「木のあかちゃん」を見つけ観察する
学習指導要領との関連	面白さ・不思議さ（小学1～2年生生活） 触れる（幼児）、遊び・観察（小学1～2年生生活）、比較する（小学3年生理科）、楽しむ（小学1～4年生道徳）、自然体験（小学生総合的な学習の時間）、自然や文化に親しむ（小学生特別活動）



拾ったどんぐりを比べている様子



カエデの種が落ちる様子を観察している様子



「木のあかちゃん」を探している様子

子どもの反応	・ ドングリや木の実が森にとって、大事な役割をしていることがよく分かりました。
学校のコメント	・ 鳥や虫の声、木の葉が揺れる音を聴いたり、木の実を観察したりして、子どもたちが自然を再発見することができました。